

水害編 第1章

【水害発生】

北区で起こりうる、
4つの水害



- 1 北区を襲う大規模な水害 p.105
- 2 北区の水害の特性 p.109

① 北区を襲う大規模な水害

北区は水害に弱い

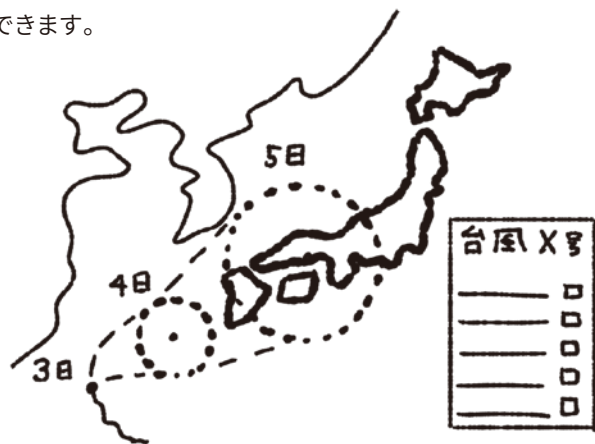
水に浸かりやすく、水がなかなか引かない



北区では海拔0m地帯やそれに近い低地が広範囲に広がっています。

水害発生時期は予測ができる

突然の大雨による浸水を除いて、ある程度事前に発生時期を予測できます。日ごろから正確な情報を手に入れる手段を確保していれば、命を守ることができます。



事前の備えと早めの避難

事前の備えは地震対策と同じ

備蓄物資や持ち出し品の内容などは、基本的には地震の場合と同じです。ただし、長期間水に浸かる可能性のある地域では、物資などを地震の場合よりも余裕をもって蓄えておくことより安心です。



早めの避難が最善の対応策

浸水により避難が数日間にわたる場合もあります。3日分程度の物資を持って避難しましょう。また、避難にあたっては近隣のお年寄りや障がい者に声をかけるなどして、逃げ遅れが起こらないようにしましょう。

① 北区を襲う大規模な水害

コラム¹⁶
column

大規模な水害のパターン

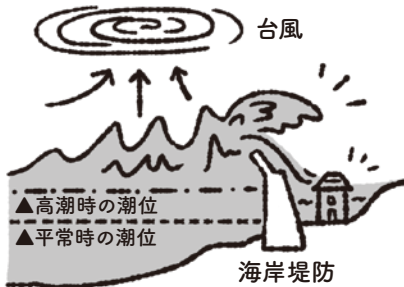
北区を襲う大規模な水害は、豪雨による淀川氾濫と内水氾濫および大阪湾から海水があふれて流れ込む高潮と津波の4つです。



<豪雨・長雨による淀川氾濫>



<局地的大雨による内水氾濫>



<スーパー台風による高潮>



<南海トラフ巨大地震による津波>

津波を実感し、高潮を知る

津波・高潮ステーションで学ぶ

近い将来必ず大阪を襲うといわれる南海トラフ巨大地震による津波や、かつて大阪を襲った高潮への対応などを学べる、広く開かれた施設です。

ダイナキューブ

前面・左右側面・底面の4面に投影される映像の中に身を置くことで、より体感的に津波の脅威を感じることができます。



高潮被害トンネル

過去、大阪を襲った室戸台風、ジェーン台風、第二室戸台風による高潮被害の様子を展示しています。現在は防潮堤のかさ上げなどで安全性が向上していますが、これを越える高潮が起こったときのことを、展示から学び取ることができます。



施設案内 津波・高潮ステーション

開館時間：午前10時～午後4時
 休館日：火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始
 入館料：無料
 所在地：西区江之子島2-1-64
 電話：06-6541-7799
 最寄駅：Osaka Metro 中央線・千日前線 阿波座駅
 7号出口徒歩2分、10号出口徒歩1分

② 北区の水害の特性


淀川氾濫は北区全体に広がる



淀川沿岸に整備された堤防の高さと市街地との間に大きな高低差ができたため、ひとたび堤防が壊れると、氾濫した水が一瞬にしてまちを襲い、人命や住宅、ライフラインが途絶えるなど壊滅的な被害になります。

木造建物の流出や、地下空間に大量の水も

決壊した堤防の近くは流速が早く、「家屋倒壊等氾濫想定区域」内の木造建物などが流出する可能性があります。
地下街などの入口にある浸水防止パネルを越えて、地下空間に大量の水が一気に流れ込むおそれもあります。

 防災マップ 淀川氾濫による浸水想定区域と浸水継続時間を確認する pp.179-180

.....【平成25年9月16日 台風18号豪雨】.....

淀川本川では、昭和57年以来約30年ぶりに河川敷まで冠水する洪水となりました。



枚方市周辺の状況
写真提供:国土交通省淀川河川事務所

内水氾濫は突然に

突然地下に水が流れ込んでくる



地下街などでは、局所的な大雨の降り始めがわかりにくく、また急に水位が増すため、逃げ遅れる危険性が高い災害です。

地上の水位が浅くても、突然地下空間に水が流れ込むこともあります。

 防災マップ 内水氾濫による浸水想定区域を確認する p.181

.....【平成25年8月25日 大阪市北部の局地的大雨】.....

1時間雨量:67.5mm
浸水戸数:1,320戸 うち床上41戸



梅田周辺の状況
出典:「集中豪雨被害軽減対策について」(大阪市)

② 北区の水害の特性

==== 高潮は台風とともに襲来する ====

流れを避けて早めの避難を

高潮は流れをもって北区の西側部分の広い範囲におよびます。大阪駅周辺では地下空間への浸水の可能性があります。



猛烈な雨風が発生する前に避難

高潮は台風とともに来ますが、猛烈な雨風の中を避難すると危険です。天気予報の台風進路予報などを見ながら、早めに自宅の浸水対策をし、避難しましょう。

.....【昭和36年9月16日 第二室戸台風】.....

室戸台風では多くの人命が失われましたが、その後発生した第二室戸台風では早期の避難によって高潮を直接の原因とする死者はゼロでした。



出典:「大阪築港100年 海からのまちづくり 中巻」(大阪市港湾局)

==== 津波では命を守るため避難第一 ====

津波はスピードと破壊力を 持って迫ってくる

北区では最大1.7万人弱の死者が予想されています。事前の避難によって、ゼロにすることができます。



後片付けよりもまず避難

大きく長い横ゆれの地震が発生したあとは、津波が発生する可能性があります。家具などが散乱する室内を片付けるより、災害情報に耳を傾けて、次の行動を決めることが大切です。大阪駅周辺では地下空間が浸水する可能性があります。



津波による浸水想定区域を確認する p.182

.....【平成23年3月11日 東日本大震災】.....



石巻市役所周辺の浸水状況



石巻市中央2丁目付近の被害状況

出典:東日本大震災アーカイブ宮城(石巻市) 石巻市役所提供

コラム⑰
column

地下空間での注意事項

地下空間では外の様子に注意

雨の季節、自宅や管理人のいないビルなど外部からの声かけが期待できない地下にいる場合、常に情報が入るようテレビ、ラジオなどに注意を傾けておきましょう。

地下は密室になりやすく避難が困難になる

地下はもともと閉鎖性の高い空間で、浸水が発生すると逃げ道が少なく避難がとても難しくなります。また、停電に加えて非常灯・誘導灯までショートしてしまうと、避難はさらに難しくなります。早めの避難が大切です。



足元に水が見えたらすぐに避難

外開き、内開きにかかわらず、浸水すると水圧で扉が開かなくなります。外開き扉が開かなくなる浸水深さは約25cm、内開き扉でも約45cmの浸水で扉が開かなくなります。内開き扉が開かなくなるのは、ドアノブと連動するツメに大きな圧力がかってドアノブが回らなくなるためです。

